

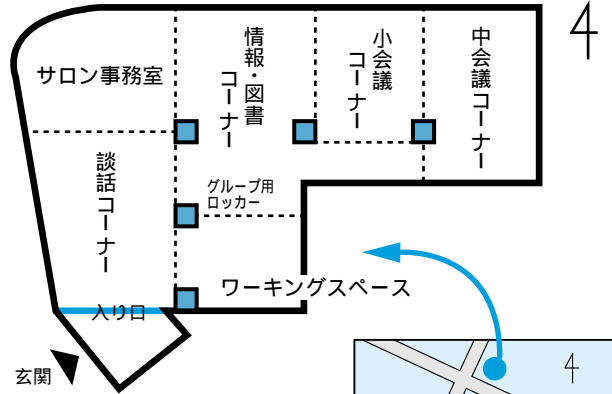
女も男も個性と能力を“自分らしく”発揮できる男女共同参画社会をめざして

4月1日
オープン

男女共生サロン「オーブIKEDA」

4月1日(土)、いけだ・さわやかビル(栄本町1-8)の商店街に面している1階部分に、男女共生サロン「オーブIKEDA」がオープンします。男女共同参画社会の実現に向けて活動する、グループや個人の活動拠点としてご利用ください。

問い合わせは男女共同参画課(☎54・6231)へ



【開館時間】
午前10時～午後8時
火曜日、年末年始は休館

4

【ワーキングスペース】
コピー機や印刷機を使って、資料などを作成できます。コピーは1枚10円、印刷は原紙1枚55円と印刷1枚につき1円(用紙は持ち込み)。

【談話コーナー】
打ち合わせや情報交換の場として

【情報・図書コーナー】
女性問題・男性問題に関する図書や雑誌、ビデオを見たり、借りることがができます。また、インターネットによる情報検索もできます。貸し出しは2週間以内、1人3冊(ビデオは1巻)まで。パソコンのプリンター使用料は1枚10円。

【会議コーナー】
同サロンの主なコーナーを紹介しします。
小会議コーナー(定員12人)と中会議コーナー(同18人)があります。希望日の1カ月前(登録グループは2カ月前)の月初めから予約を受け付けます(1カ月2回まで、最長3時間)。使用料は無料。また、予約の入っていない時間帯は自由に利用できます。

近年、女性の地位向上のための法律や制度が整備され、女性の社会進出が活発になり、実態面でも男女平等がかなり達成されてきました。しかし、依然として人々の意識には、男女の能力や役割に対する固定的な考え方が残っています。

真の男女平等を実現するには、このような考え方を取り払い、一人ひとりが個性をいかした自分らしい生き方を実現できる社会をつくること

が大切です。そのためには女性のみならず、男性の認識の向上に、これまで以上に積極的に取り組むことが求められます。

皆さんも、ぜひ、女性問題について話し合い、考えてみてください。

【グループ用ロッカー】
資料などを入れられます。また、連絡物を入れるポストも付いています。使用料は年額1000円(登録



21世紀に向けて、自分らしい生き方ができる社会を創ろう

4/10(月)～16(日)は女性週間です

大阪府で開催される「女性週間」
全国会議の関連事業として、府と財
大阪府男女協働社会づくり財団が、
次の催しを開催します。

「女性週間」全国会議 とき 4月24日(月)午後1時～3時30分 内容
「大阪市立大学名誉教授・竹中恵美子さんによる講演など 費用 無料」
企画参加型イベント とき 4月23日(日)・24日(月)の午前10時～午後7時 内容
「女性問題に関するワークショップや展示、バザーなど 費用 無料」

第6回女性芸術劇場 桜色観覧車
とき 4月23日(日)午後2時と24日(月)午後7時 内容
「女性問題をテーマにした短編舞台劇 費用 前売り2500円(当日3000円)」

ところ ドーンセンター(地下鉄「天満橋」駅下車5分) 問い合わせ
大阪府男女協働社会づくり課(☎06・6942・3821)

グループのみ) 同サロンの電話番号は「☎54・2891」、ファクス番号は「☎54・2892」です。

ご利用ください。

06・6942・3821

「女性週間」イベント
大阪府で開催される「女性週間」
全国会議の関連事業として、府と財
大阪府男女協働社会づくり財団が、
次の催しを開催します。

「女性週間」全国会議 とき 4月24日(月)午後1時～3時30分 内容
「大阪市立大学名誉教授・竹中恵美子さんによる講演など 費用 無料」
企画参加型イベント とき 4月23日(日)・24日(月)の午前10時～午後7時 内容
「女性問題に関するワークショップや展示、バザーなど 費用 無料」

第6回女性芸術劇場 桜色観覧車
とき 4月23日(日)午後2時と24日(月)午後7時 内容
「女性問題をテーマにした短編舞台劇 費用 前売り2500円(当日3000円)」

ところ ドーンセンター(地下鉄「天満橋」駅下車5分) 問い合わせ
大阪府男女協働社会づくり課(☎06・6942・3821)

グループのみ) 同サロンの電話番号は「☎54・2891」、ファクス番号は「☎54・2892」です。

ご利用ください。

わがまち
歴史散歩

近代の池田⑧

豊能郡役所

郡役所とは

現在の池田市建石町に、かつて豊能郡役所がありました。豊能郡は明治29年4月に豊島・能勢の両郡が合わさってできたもので、その区域は現在の池田・箕面・豊中の各市と、能勢・豊能両町、および吹田市の一部に当たります。郡というのは、江戸時代には単なる地理的名称でしたが、明治の地方自治制では府県と町村との中間に位置する行政区画となり、郡役所が設置されました。郡長は町村行政を監督する立場にありましたが、ところが監督される側



「豊能郡報」

の町村長が選挙で選ばれたのに対して、郡長には官吏がなっていました。事実、郡には町村自治を抑圧するという側面があったのです。そのため大正15年には地方自治発展のため、郡制度は廃止されました。

では、郡長、郡役所は具体的にどのような仕事をしていたのでしょか。町村自治との関係は実際にどのようなものだったのでしょうか。廃止からすでに70数年を経た今、聞き取りによる調査は期待できません。そこで史料を探すこととなります。

郡役所の史料を探す

まず、当時の新聞から郡役所関係の記事を探すことができます。例えば大正10年6月19日付の「大阪朝日新聞」には、18日午前10時40分、庁舎の事務室（36坪）で檜の天井がものすごい音響とともに落下し、所員20数人が下敷きになったという記事があります。幸い「メリ」といふ音を聞くと同時に机の下に潜り込んだため、負傷者はなかったそうです。こうした記事からも、大きな事務室で20数人の職員が机に向かっていてという、役所の日常風景が想像できます。

しかし、何といっても郡役所の仕事の内容を知るには、公文書（公務の過程で作成された文書）を読むのが一番です。ところが豊能郡に限らず、廃止された郡役所の文書はあまり残っていません。現在でも、町村

合併に伴って消滅した町村の公文書が破棄されることは珍しくないので、こういった記録史料を大切に保管しないというのが、残念ながら日本の「伝統」になってしまっています。豊能郡役所の場合も、お隣の箕面市の調査によって、書記だった方の子孫のお宅から、郡役所関係のつづりが数冊発見されたのみです。

なお、郡役所の広報ともいえるべきものに、「豊能郡報」がありました。同郡報は、郡内全域から広く記事の提供を求めており、郡役所の様子だけでなく、地域内でのさまざまな行事や出来事が紹介されています。当時の社会を知るうえで貴重な史料です。毎月発行されていたのですが、これも現存するのはごくわずかです。現在、池田市の木部自治会文書の中から発見された（写真）ほか、豊中・箕面両市内、関西大学などで、合わせて20冊程度しか確認されています。

ここで紹介したような史料は役所が保管していると思われるかもしれませんが、実は市民の皆さんが保管されていることが多いのです。

滋賀大学講師・馬場義弘

《お願い》現在、『新修池田市史』の近代編を編集しています。郡役所文書に限らず、古い記録史料などをお持ちでしたら、社会教育課（☎54・6295）までお知らせください。

みゅうじあむ・がいど

館名	展示名(期間)/みどころほか	開館時間/休館日/料金	地図
市立歴史民俗資料館 ☎51・3019	●市制施行60周年記念 企画展「平成11年度新収資料公開展」 ~5/7(日) 11年度新たに収集した資料などを紹介 4/16(日)午後2時から展示資料などを解説します。	●9:00~17:00 ●月・火曜日、祝日、月末 (4/29(祝)は開館) ●無料	
(財)逸翁美術館 ☎51・3865	●休館中	●10:00~16:30 (入館は16:00まで) ●月曜日 ●一般500円、学生300円、中学生以下100円	
(財)阪急学園池田文庫 ☎51・3185	●第59回展示~芝居街の賑わい~ 「歌舞伎絵看板展」 4/1(土)~5/21(日) 講演会「双六にみる上方歌舞伎」...4/23(日)14:00 講師 梅花女子大学教授・荻田清さん (500円、観覧料含む)	●9:30~17:00 ●月曜日、4/5(水)、4/25(火)、4/26(木) ●200円。図書館は無料	